

食事介助・
排泄ケア（処理）について

食事介助について（準備）



- ①マスク、エプロン、ゴーグル（入所者の方がせき込む可能性もあるため）、使い捨て手袋を装着
 - ②アルコールにて、食卓を拭く。
 - ③入所者の手をアルコールで消毒する。
（アルコールをすり込む）
 - ④フェイスタオルを入所者の胸のあたりに置いておく。
- ※入所者が感染症に罹患している時は、
原則個室で介助する。

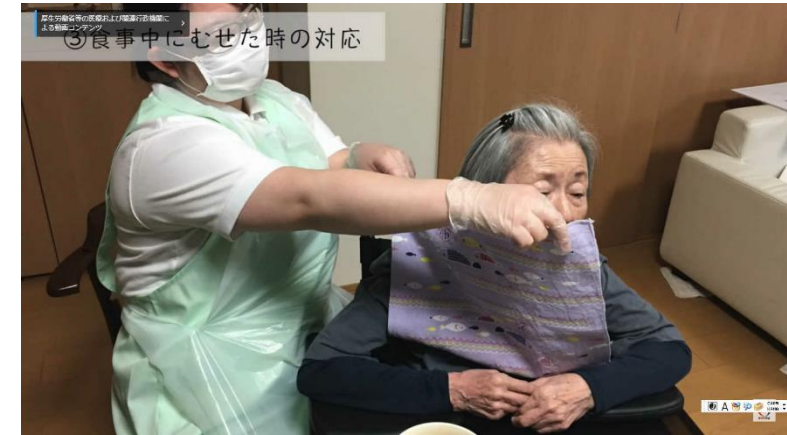
食事介助について（介助時のポイント）

- ・ 介助はななめ後ろから行う（飲み込みの様子を確認しながら）
- ・ 言葉かけは行わず、顔を近づけすぎないように注意する
- ・ 言葉による声掛けではなく、OKサインやうなづき、笑顔などで可能な限り対応する



食事介助について（むせた時の対応）

- 食事中に咳やむせ込み等の可能性がある場合は、必要物品を手の届くところに準備しておく
- むせこんだ時には、あらかじめ用意していたフェイスタオルでそっと口を覆う
(職員は) 上体を後ろに引き、唾液を浴びないようにする
- 口の中に残った食べ物を吐き出すように促す
- 頭が後ろに倒れないようにして、口をすすぐ
- 汚れたティッシュなどは、袋に入れ、新しい手袋に交換する



排泄ケア（処理）について（準備）



マスク、エプロン、使い捨て手袋を装着
（便などの排泄物には、病原体が混入している可能性
を考慮。職員が媒介者とならないよう要注意！）

手袋とエプロンは1ケア毎に取り換える
※手袋を外した時には、手指消毒を実施

排泄物の処理手順①

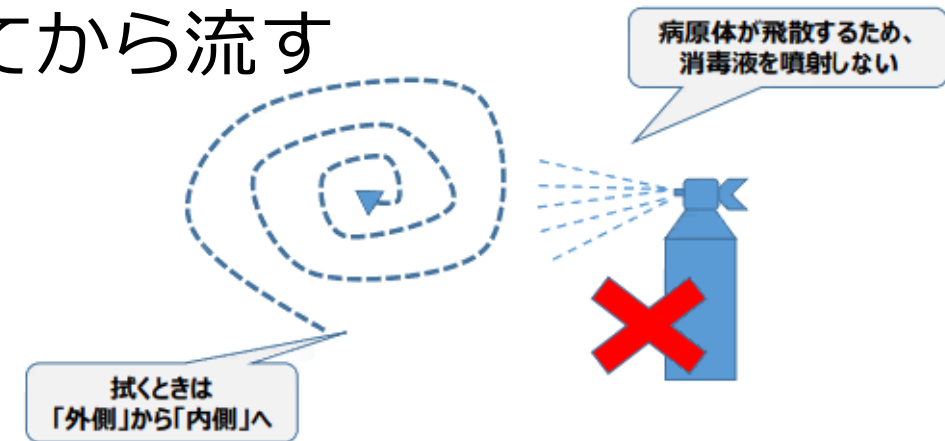
1. 窓を開けて換気を行う。
2. 近くにいる入所者を移動させ、処理を行う職員以外は近寄らないようにする。
3. 嘔吐の場合は、周囲2メートルくらいは汚染していると考え、まず濡れたペーパータオルや布、新聞紙等を嘔吐物にかぶせて拡散を防ぐ。

※消毒液をスプレーで吹きかけると、逆に病原体が舞い上がり、感染の機会を増やしてしまうため、噴霧はしない



排泄物の処理手順②

4. ペーパータオルや布新聞紙等で、外から内側に向けて静かにふき取る。一度ふき取ったペーパータオルはビニール袋に入れて廃棄。
5. 次亜塩素酸ナトリウム液(0.1%)で浸すようにふき取り、その後に水拭きする。
 - ※ビニール袋の廃棄物が十分に浸る次亜塩素酸ナトリウム(0.1%濃度)を入れ、その後廃棄することが望ましい
 - ※排泄物をトイレに流す時には、ふたをしてから流す
6. 次亜塩素酸ナトリウムを使用した後は、窓を開けて換気する



処理用キットの用意

普段から・・・

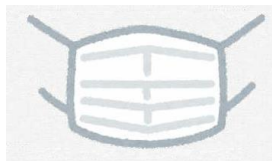
嘔吐物や排泄物を速やかに処理できるよう

以下のような必要物品をひとまとめにしておきましょう

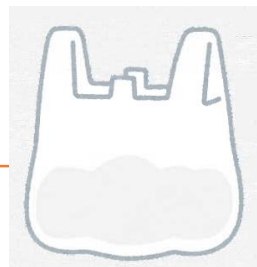
- 使い捨て手袋

- ビニールエプロン

- マスク



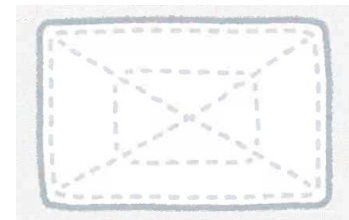
- ビニール袋



- 次亜塩素酸ナトリウム

- ペーパータオル

- 使い捨て布



- その他必要な物品（新聞紙等）

